ディーラーマニュアル

ロード	MTB	トレッキング
シティツーリング／コンフォートバイク	アーバンスポーツ	E-BIKE

リアディレイラー

SLX
RD-M7000

DEORE
RD-M6000
RD-M5120

目次

重要なお知らせ 3

安全のために 4

使用工具一覧 7

取付け 9

リアディレイラーの取付け 9

調整 13

ストローク調整 13

チェーンの取付け 14

ケーブルの固定 16

エンドアジャストボルトの使用方法 21

SISの調整 22

フリクション調整方法 24

メンテナンス 28

プレートとPテンションスプリングの交換 28

チェーンスタビライザーのグリスアップ 36

プーリーの交換 37

重要なお知らせ

- **ディーラーマニュアルは自転車安全整備士、自転車技士など専門知識を有する方を対象としています。**
  専門知識のないユーザーがディーラーマニュアルを参照して、部品を取付けないでください。
  記載されている内容に不明な点がある場合は絶対にご自身で作業しないでください。購入された販売店、または代理店へご相談ください。
- 各製品に付属している取扱説明書も併せてよくお読みください。
- ディーラーマニュアルに書かれていない製品の分解、改造はおこなわないでください。
- 全てのマニュアル・技術資料はウェブサイト https://si.shimano.com でご覧いただけます。
- インターネットのご利用が難しいお客様から、印刷されたユーザーマニュアルを問い合わせいただく場合があります。シマノ代理店またはシマノ営業所に印刷版のユーザーマニュアルをお申し付けください。
- 地域のルールや法律に従って製品をご使用ください。

安全のため、必ずこのディーラーマニュアルをよくお読みの上、正しくご使用ください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 危　険

「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。

⚠ 警　告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注　意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

安全のために

⚠警　告

- **製品を取付ける際は、必ず取扱説明書の指示に従う。**
  その際、シマノ純正部品を使用してください。製品や交換部品が不適切に組立て、調整されていると、製品の不具合を招き、転倒して重傷を負う場合があります。
- 部品の交換など、メンテナンス作業中は、適正な眼の保護具を着用する。

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- チェーンおよびクイックリンクを適切なチェーンクリーナーで定期的に洗浄する。メンテナンスの頻度は、ライディングの状況により異なります。錆び落としなどのアルカリ性、あるいは酸性の洗浄液は決して使用しない。これらを使用するとチェーンおよびクイックリンクが破損し、重傷を負うおそれがあります。
- チェーンに損傷（変形やクラック）、チェーン飛び、意図しない変速などの異常がないか点検する。異常のあった場合は販売店または代理店へご相談ください。チェーンが切れて転倒する可能性があります。
- 対応する歯組のカセットスプロケットで使用する。RD-M6000-GSに対応するカセットスプロケットは11-42Tのみです。他の歯組のカセットスプロケットはご使用になれません。対応しない歯組の製品を使用すると、チェーンが最小スプロケットの外側に脱線し、転倒する可能性があります。

■TL-CT12の使用にあたって

- 作業中に刃やニードルでけがをしないように注意する。
- 作業中に工具で指を挟まないように注意する。
- 工具は小さな子供の手の届かないところに置く。

使用上の注意

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- SHADOW RD+ の場合、乗車前にはプレートユニットカバーが付いているか必ず確認してください。
- 変速操作がスムーズにできなくなった場合には、販売店にご相談ください。
- ギアは定期的に中性洗剤で洗浄し注油してください。また、チェーンおよびクイックリンクの中性洗剤での洗浄および注油も、チェーンおよびクイックリンクの寿命を延ばすのに効果があります。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の経年劣化は保証いたしません。

自転車への組付け、整備に関する事項

- フレームの形状によってはリアディレイラーがチェーンステーと干渉する場合があります。リアディレーラーがチェーンステーと干渉しないようにエンドアジャストボルトで調整してください。
- 使用前にインナーケーブルとアウターケーシングの摺動部分にSIS SP41グリス(Y04180000) を塗布してください。また、インナーケーブルにゴミなどを付着させないでください。
- 円滑な操作のため、OT-SP41アウターケーシング、ケーブルガイドをご使用ください。
- アウターケーシングはハンドルを一杯に操舵しても余裕がある長さのものをご使用ください。また、ハンドルを一杯に操舵した時にシフティングレバーがフレームに接触しないことを合わせて確認してください。
- 変速調整ができない場合には、車体の後ろエンドの平行度の確認、ケーブルの洗浄およびグリスアップとアウターケーシングが長すぎたり短すぎたりしていないかを確認してください。
- 定期的に変速機を洗浄し作動部（メカニズム部およびプーリー部）に注油してください。
- ガイドプーリーには、モデルにより回転方向を示す矢印が付いています。変速機の表側から見て、矢印が反時計回りになるように取付けてください。

- プーリーのガタが大きくなって、走行時、非常に雑音がうるさくなった場合は、プーリーを交換してください。

手順の説明を主体としていますので、製品イメージが異なる場合があります。

使用工具一覧

使用工具一覧

製品の取付け、調整、メンテナンスには下記の工具が必要です。

工　具		工　具		工　具	
	2 mm六角レンチ		5 mm六角レンチ		プラスドライバー[#2]
	3 mm六角レンチ		5.5 mmスパナ		ヘクサロビュラ[#30]
	4 mm六角レンチ		TL-CT12		

取付け

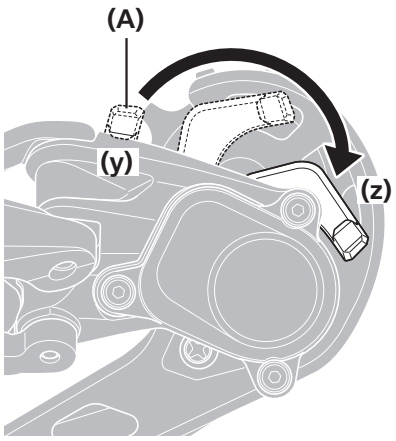
取付け

■ リアディレイラーの取付け

スタンダードタイプ

レバースイッチの設定

1



レバースイッチがOFFの位置にあるか確認します。

ONの場合は、必ずレバースイッチをOFFにして下さい。

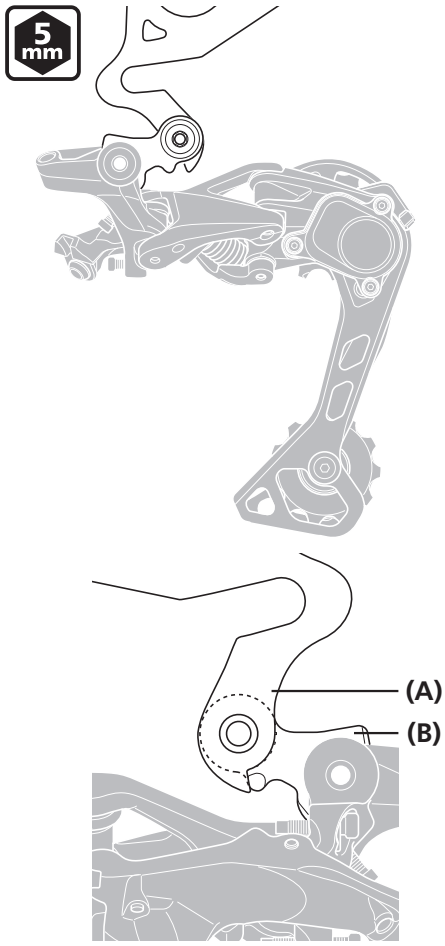
(y) ON
(z) OFF

(A) レバースイッチ

TECH TIPS

形状はモデルにより異なります。

2



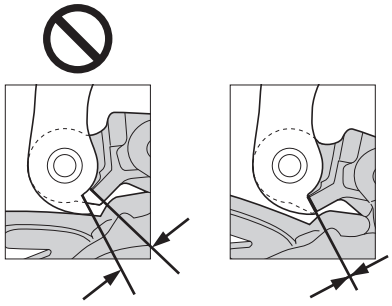
リアディレイラーを取付けます。

(A) ディレイラーハンガー
(B) ブラケット

締付けトルク	
5 mm	8 - 10 N·m

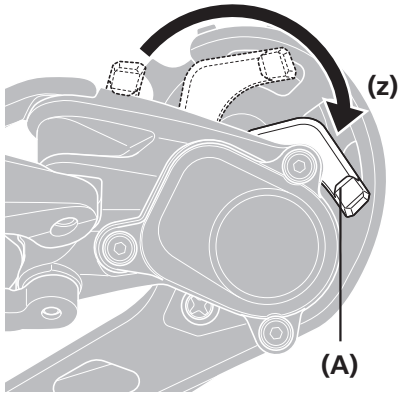
使用上の注意

ディレイラーハンガー爪部とブラケットが図のようにすき間なくセットされていることを定期的に確認してください。ここにすき間があると、変速性能に支障をきたすおそれがあります。



ダイレクトマウントタイプ

レバースイッチの設定



レバースイッチがOFFの位置にあるか確認します。

ONの場合は、必ずレバースイッチをOFFにして下さい。

(z) OFFの位置

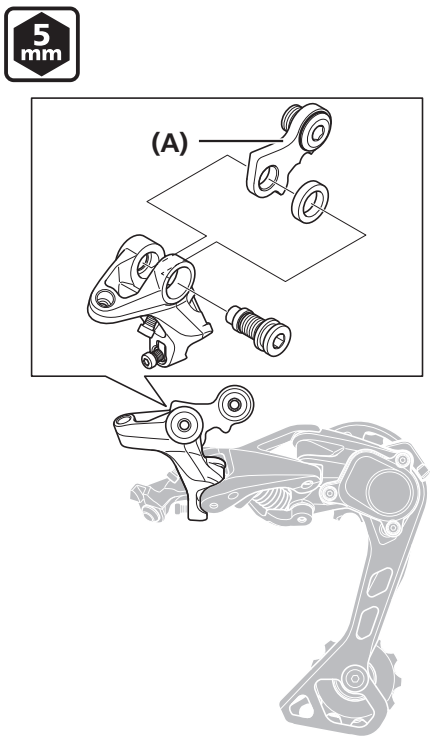
(A) レバースイッチ

TECH TIPS

形状はモデルにより異なります。

ダイレクトマウントへの組替え

1

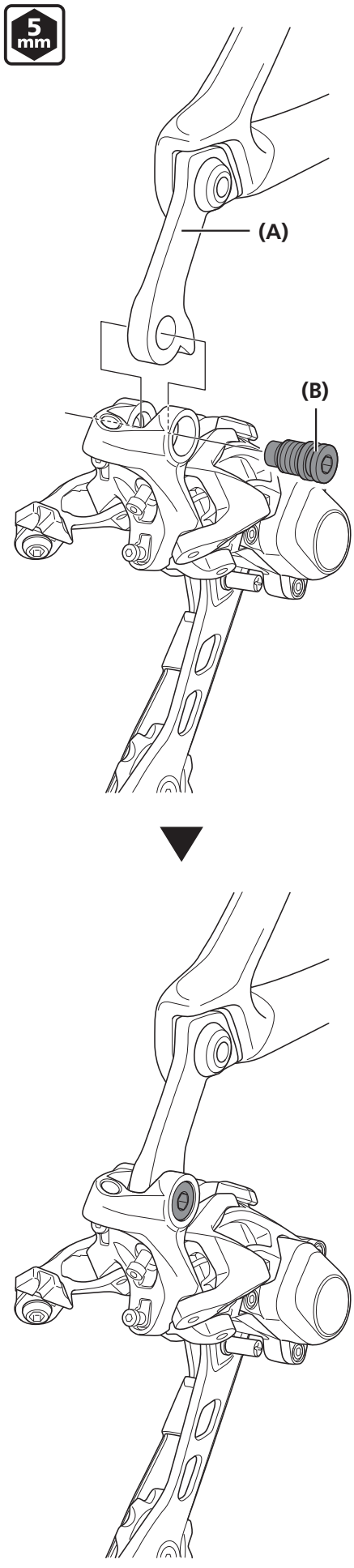


ブラケット軸プレートを取外します。

(A) ブラケット軸プレート

次ページへ続く

2



リアディレイラーを取付けます。

リアディレイラーのダイレクトマウント用取付け部に、ディレイラーハンガーを挿入します。

ブラケット軸2でリアディレイラーを取付けます。

(A) ディレイラーハンガー
(B) ブラケット軸2

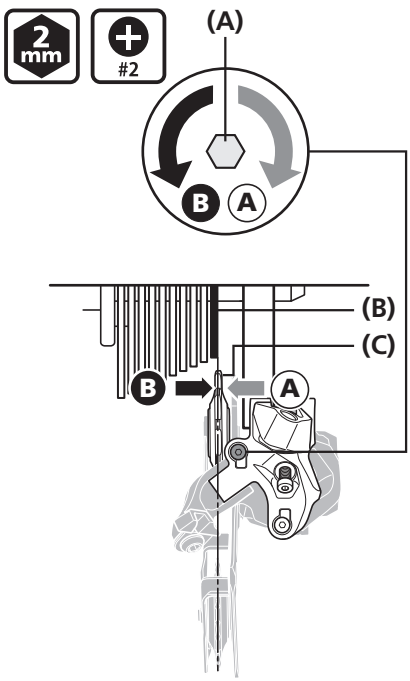
締付けトルク	
5 mm	8 - 10 N·m

調整

調整

■ ストローク調整

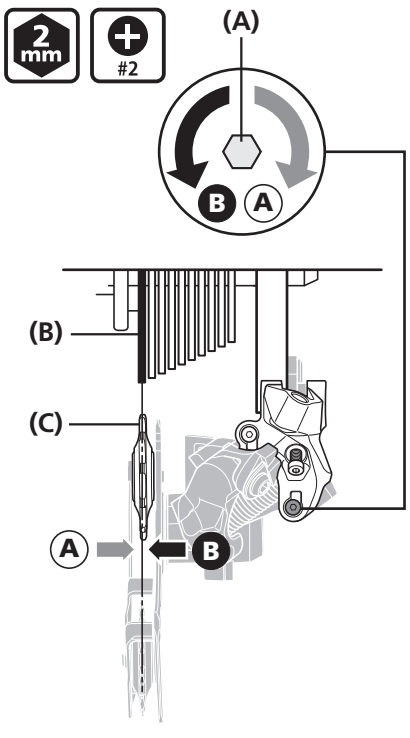
トップ側の調整



後方から見て、ガイドプーリーが最小スプロケットの外側の線の上にくるように、トップ調整ボルトを回して調整します。

(A) トップ調整ボルト
(B) 最小スプロケット
(C) ガイドプーリー

ロー側の調整



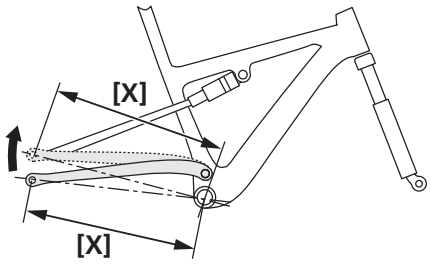
ガイドプーリーが最大スプロケットの真下にくるように、ロー調整ボルトを回して調整します。

(A) ロー調整ボルト
(B) 最大スプロケット
(C) ガイドプーリー

■ チェーンの取付け

チェーンの長さ

1

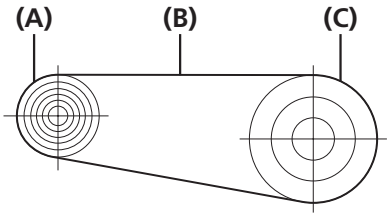


リアサスペンションが動作することにより寸法**[X]**が変化します。

このため、チェーンの長さが不足していると、駆動システムに過度の負荷がかかるため、駆動システム部品が損傷する場合があります。

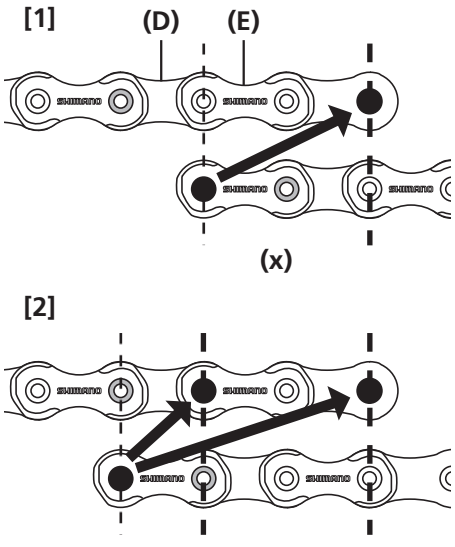
サスペンションを動作させ、寸法**[X]**が最長になる位置でチェーンの長さをセットします。

2



チェーンを最大スプロケットと最大チェーンリングにかけます。

その後、チェーンに1～3リンクを加えた長さにセットします。



チェーンをかけた時に、**[1]**のように、インナーリンクとアウターリンクが合う場合は、2リンクを加えた長さにセットします。

[2]のように、インナーリンク同士、アウターリンク同士が合う場合は、1リンクまたは3リンクを加えた長さにセットします。
[2]で1リンク加えた長さにセットした時に、チェーンを最大スプロケットと最大チェーンリングにかけて駆動ゴロツキが気になる際は、さらに2リンク加えた長さにセットしてください。

(x) +2リンク
(y) +1リンク
(z) +3リンク

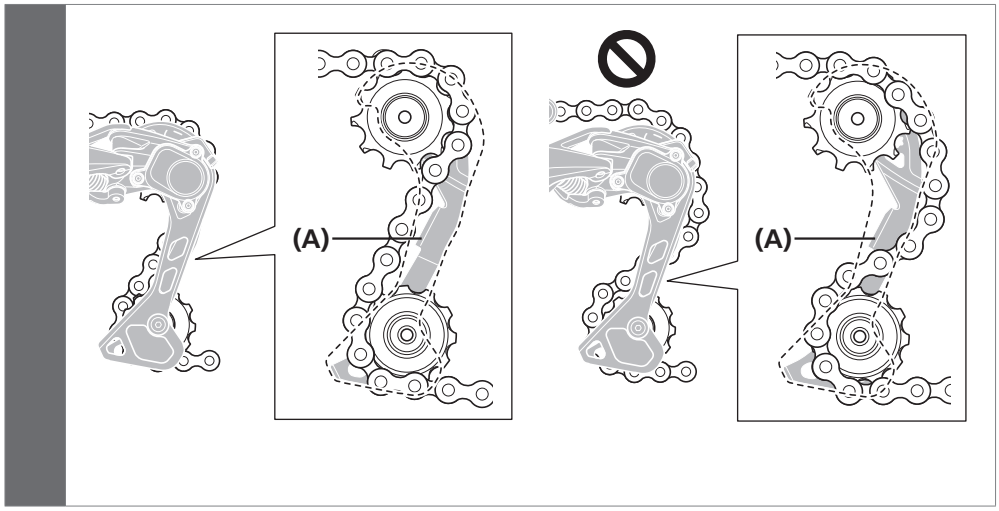
(A) 最大スプロケット
(B) チェーン
(C) 最大チェーンリング
(D) インナーリンク
(E) アウターリンク

使用上の注意

最小チェーンリングと最少スプロケットにチェーンがある場合、リアサスペンションの動作でチェーン長に差が出るため、ライダーの体重や衝撃吸収によるリアサスペンションの動作によってチェーンがたるむ場合があります。チェーンの長さは、リアサスペンション動作時のチェーン長が最長になる位置で設定してください。

TECH TIPS

チェーン長さの確認方法はフロントトリプルギア、フロントダブルギア、フロントシングルギアで共通です。



(A) チェーン脱線防止板

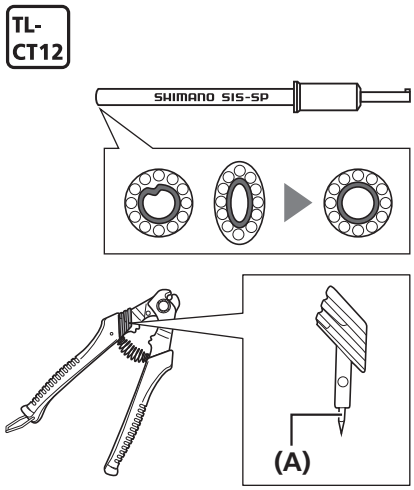
使用上の注意

リアディレイラープレート組にはチェーンの脱線を防止するピンまたは板が付いています。
リアディレイラーにチェーンを通すときは、図のようにチェーン脱線防止板よりリアディレイラー本体側に通してください。
正しい位置に通さないとチェーンやリアディレイラーが破損するおそれがあります。

■ ケーブルの固定

アウターケーシングの切断

1



アウタケーシングを切断する時は、刻印の付いた端部の反対側の端部を切断します。

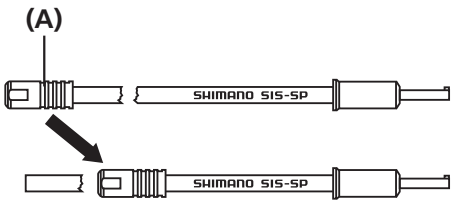
アウターケーシングの切断後、TL-CT12ニードルなど細いもので外側を真円に戻し、穴の内側を整えてください。

(A) TL-CT12ニードル

使用上の注意

TL-CT12ニードルで手を傷つけないようご注意ください。

2

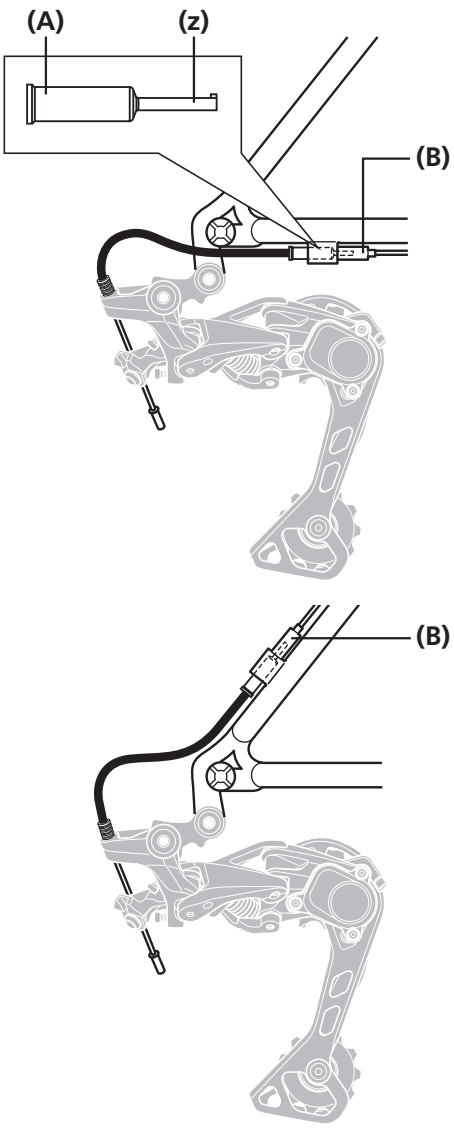


切断後も同じシールドアウターキャップを端部に取付けます。

(A) シールドアウターキャップ

次ページへ続く

3



フレームのアウターケーシングストッパーには、ノーズ付シールドアウターキャップおよびラバーシールドを取付けます。

フルアウター仕様の場合、この手順は不要です。

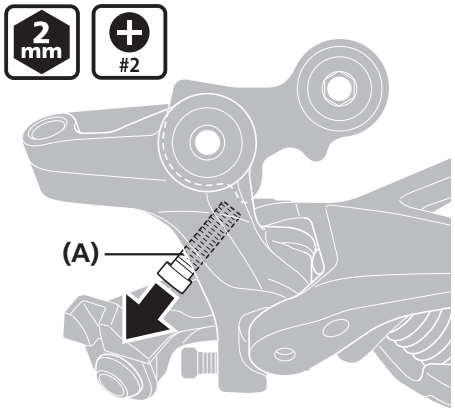
(z) 曲げないように注意してください。

(A) ノーズ付シールドアウターキャップ

(B) ラバーシールド

アウターケーシングの長さ

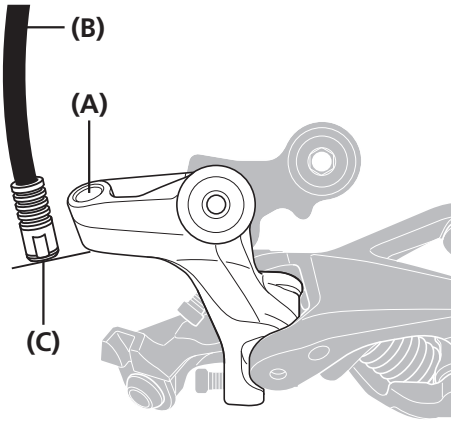
1



エンドアジャストボルトの先端がディレイラーハンガー爪部に当たらない位置まで緩めます。

(A) エンドアジャストボルト

2



アウターケーシングに十分なたるみがあることを確認します。

シールドアウターキャップをアウターケーシングに取り付けます。アウターキャップをリアディレイラーのアウターケーシングホルダーの最下端に合わせてください。

ケーブルカッターで余分なアウターケーシングを切断します。

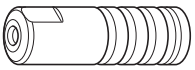
(A) アウターケーシングホルダー
(B) アウターケーシング
(C) シールドアウターキャップ

使用上の注意

リアサスペンションの作動時、アウターストッパーとリアディレイラーのアウターケーシングホルダーとの距離が変化するため、アウターケーシングの長さは、最大の長さになるポイントで決定してください。

TECH TIPS

リアサスペンション自転車などで、リアディレイラーの動きが激しい場合は、付属のアルミタイプのシールドアウターキャップと交換することをお勧めします。



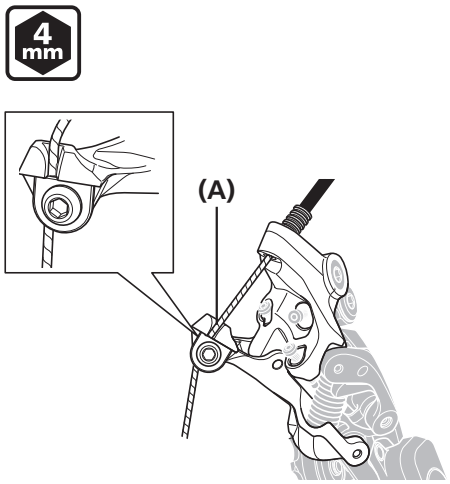
シールドアウターキャップ

シールドアウターキャップ（アルミタイプ）

ケーブルの接続と固定

1 シフティングレバーの解除レバーを10回以上操作して初期位置にセットします。

2



インナーケーブルをリアディレイラーに固定します。

(A) インナーケーブル

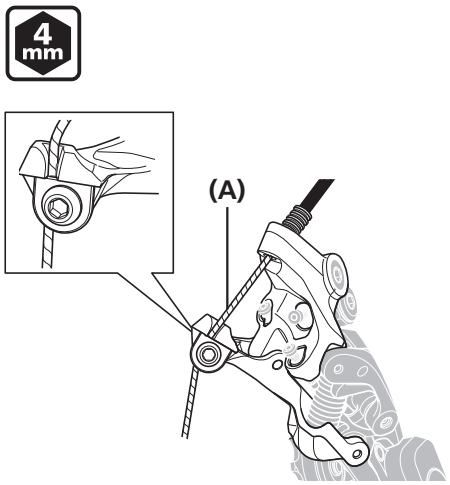
使用上の注意

ポリマーコーティングが施されたケーブルは、使用時に自然な摩耗により毛羽立つ場合があります。ただし、このマニュアルに記載されている手順に従ってケーブルを慎重に取り付けた場合、表面的なものであり、パフォーマンスに影響しません。

3 インナーケーブルの初期伸びを取ります。

シフトケーブルからの負荷で動かないように、リアディレイラーを押さえます。
シフティングレバーを数回操作し、シフトケーブルに張力をかけます。

4



インナーケーブルをリアディレイラーに固定し直します。

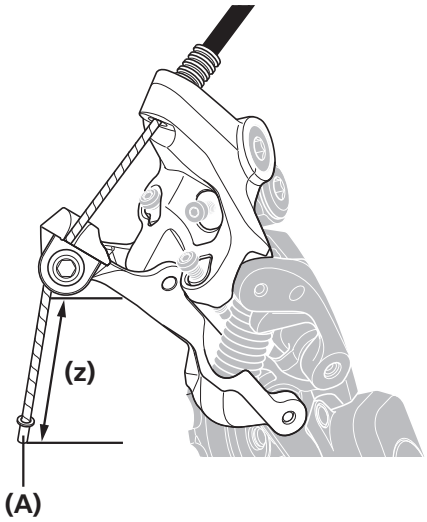
インナーケーブルは必ずケーブル取り付け溝に沿わせて固定してください。

(A) インナーケーブル

締付けトルク	
4 mm	6 - 7 N·m

次ページへ続く

5



出代が約30 mmになるようにインナーケーブルをカットします。

インナーエンドキャップを取付けます。

(z) 30 mm以下

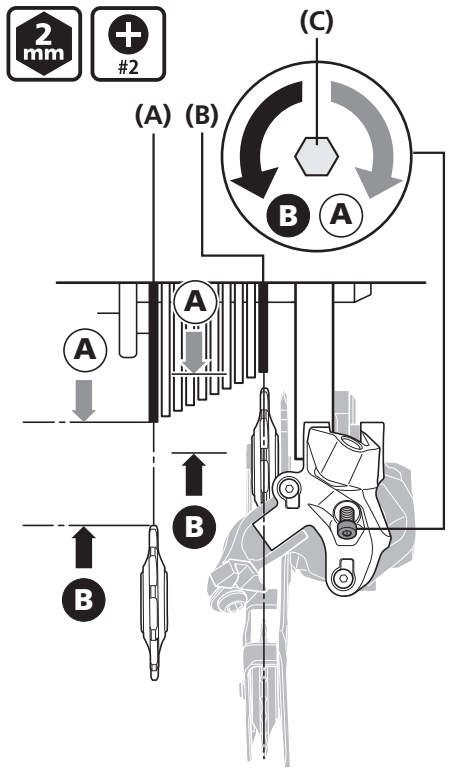
(A) インナーエンドキャップ

使用上の注意

インナーケーブルが車輪のスポークに干渉しないことを確認してください。
この作業を行う際は、車輪が回転しないようにしてください。

■ エンドアジャストボルトの使用方法

エンドアジャストボルトの調整



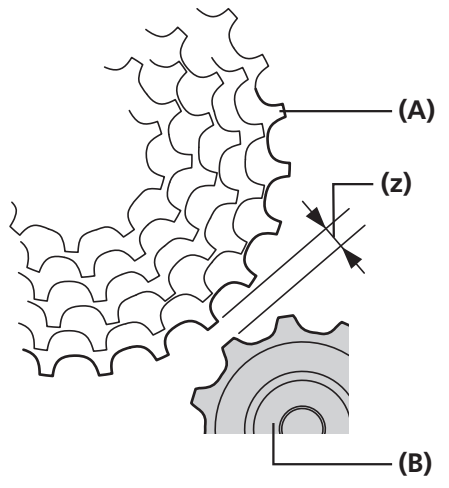
チェーンを最小チェーンリングと最大スプロケットに変速します。

クランクアームを逆に回して、エンドアジャストボルトでガイドプーリーと最大スプロケット間でチェーン詰まりしないようにできるだけ近づけてください。

次に、チェーンを最小スプロケットにセットし、上記手順を繰り返してプーリーがスプロケットに接触しないことを確認してください。

(A) 最大スプロケット
(B) 最小スプロケット
(C) エンドアジャストボルト

最大スプロケットとガイドプーリー間の距離の確認



リアディレイラーを最大スプロケットにセットし、車輪を止めてからガイドプーリーの先端と最大スプロケットの先端の間隔が**(z)**の範囲にあることを確認します。

(z) 5 ～ 6 mm
(最大スプロケット歯数が42T以下の場合)
8 ～ 9 mm
(最大スプロケット歯数が46Tの場合)

(A) 最大スプロケット
(B) ガイドプーリー

使用上の注意

最大スプロケットとガイドプーリー間の距離の確認は、リアサスペンションが一番伸びている状態で確認してください。

■ SISの調整

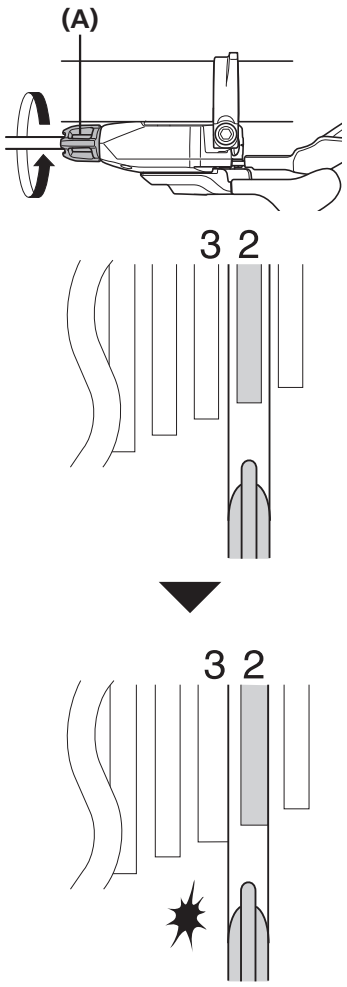
SISの調整方法

1 レバースイッチをOFFにします。

2 シフティングレバーを1回操作して、最小スプロケットから2段目に変速させます。

3 最小スプロケットから2番目に変速します。フロントダブルのチェーンリングの場合は、最大のチェーンリングに変速します。

4

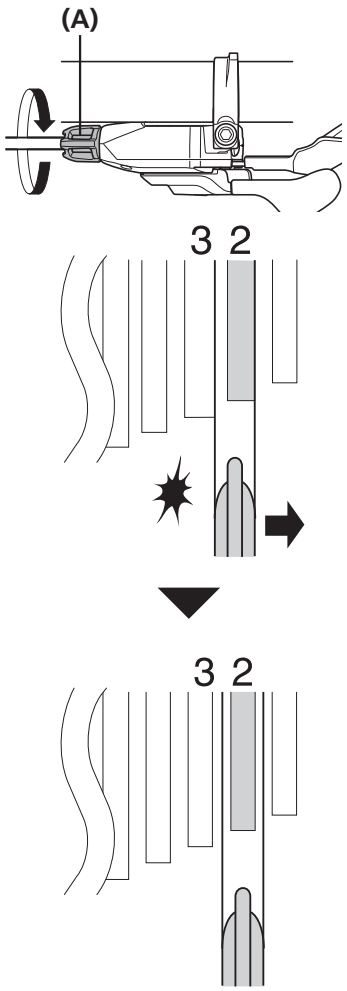


ケーブル調整ボルトを反時計回りに回して、チェーンが最小スプロケットから3段目のギアに接触し、音鳴りするようにケーブルを調整します。

(A) ケーブル調整ボルト

次ページへ続く

5



ケーブル調整ボルトを時計回りに回して、ギアから音鳴りのしないぎりぎりのポイントまでケーブルの張力を減らします。

(A) ケーブル調整ボルト

6

レバーを操作して変速し各段で音鳴りがないことを確認してください。

7

スイッチレバーをONにし、乗車時に変速がスムーズに行えるか、各ギア位置で異音がしないか確認します。

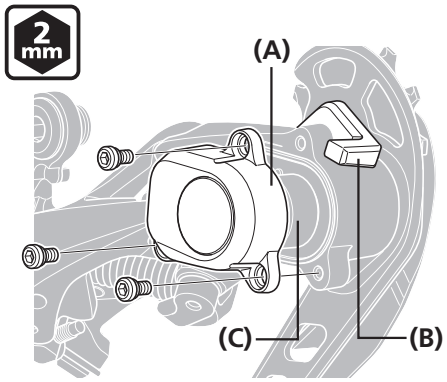
■ フリクション調整方法

お好みのフリクションに調整できます。また、使用に伴いフリクションが変化した時には調整できます。

フリクション調整

1 レバースイッチをOFFにします。

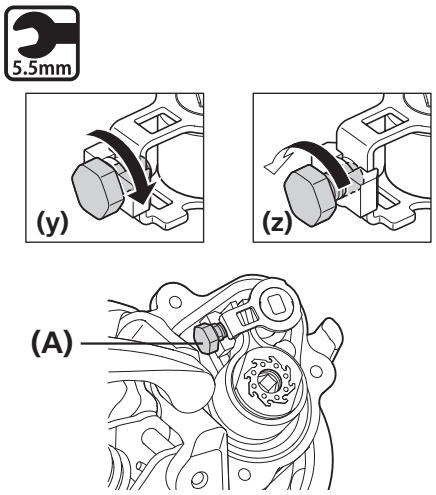
2



2 mm六角レンチでプレートユニットカバーを取外します。

(A) プレートユニットカバー
(B) レバースイッチ
(C) プレートユニット

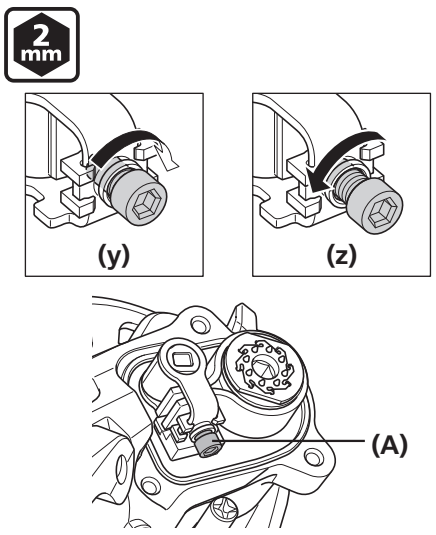
3



RD-M7000-10-SGS
RD-M6000-SGS
5.5 mmスパナでフリクション調整ボルトを操作し、フリクションの調整をします。

(y) フリクション増
(z) フリクション減

(A) フリクション調整ボルト

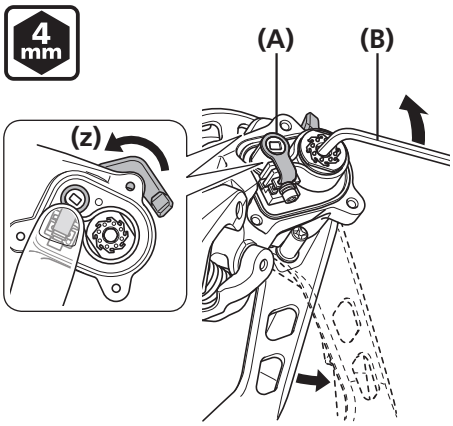


RD-M7000-11-GS
RD-M6000-GS
RD-M5120-SGS
2 mm六角レンチでフリクション調整ボルトを操作し、フリクションの調整をします。

(y) フリクション増
(z) フリクション減

次ページへ続く

4



フリクショントルクを確認します。

図のようにカムユニットを指で押さえながら、レバースイッチをONにし、フリクショントルクを確認します。

(z) ON

(A) カムユニット
(B) 4 mm六角レンチ

フリクショントルク	
4 mm	3.5 - 5.4 N·m

使用上の注意

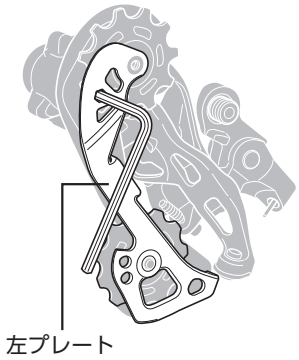
再度フリクションの調整をする場合、必ずカムユニットを指で押さえながらレバースイッチをOFFにし、それから調整を行ってください。

TECH TIPS

RD-M7000-11-GS
RD-M6000-GS
RD-M5120-SGS

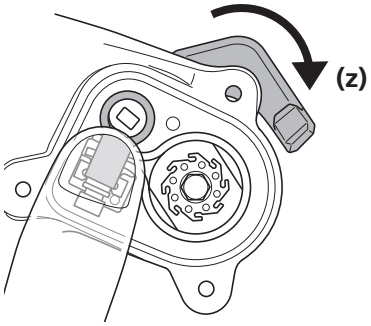
左プレートに六角レンチまたはヘクサロビュラレンチを差し込み、フリクショントルクを確認する事もできます。

5 mm　#30



次ページへ続く

5



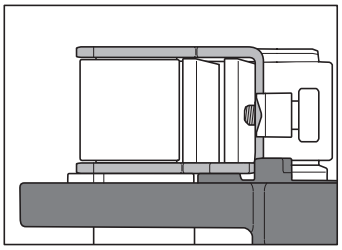
カムユニットを指で押さえながらレバースイッチをOFFにします。

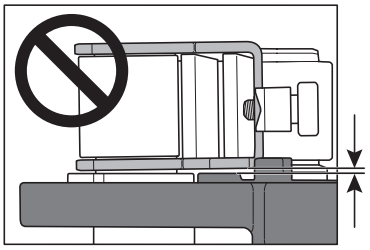
その際、カムユニットがプレートユニットの底部に接触していることを確認してください。

(z) OFF

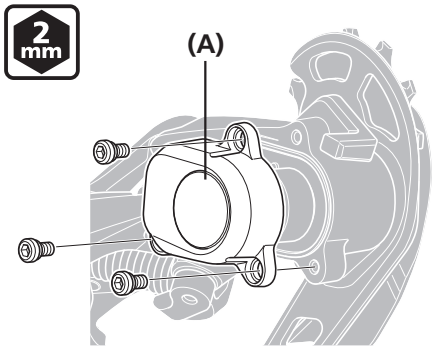
使用上の注意

スイッチベースがプレートユニットに正しく接地していない状態で、プレートユニットカバーを取付けないでください。シール性が不十分となり、チェーンスタビライザー機構の錆や動作不良の原因になります。





6



プレートユニットカバーを取付けます。

(A) プレートユニットカバー

締付けトルク	
2 mm	1 - 1.5 N·m

メンテナンス

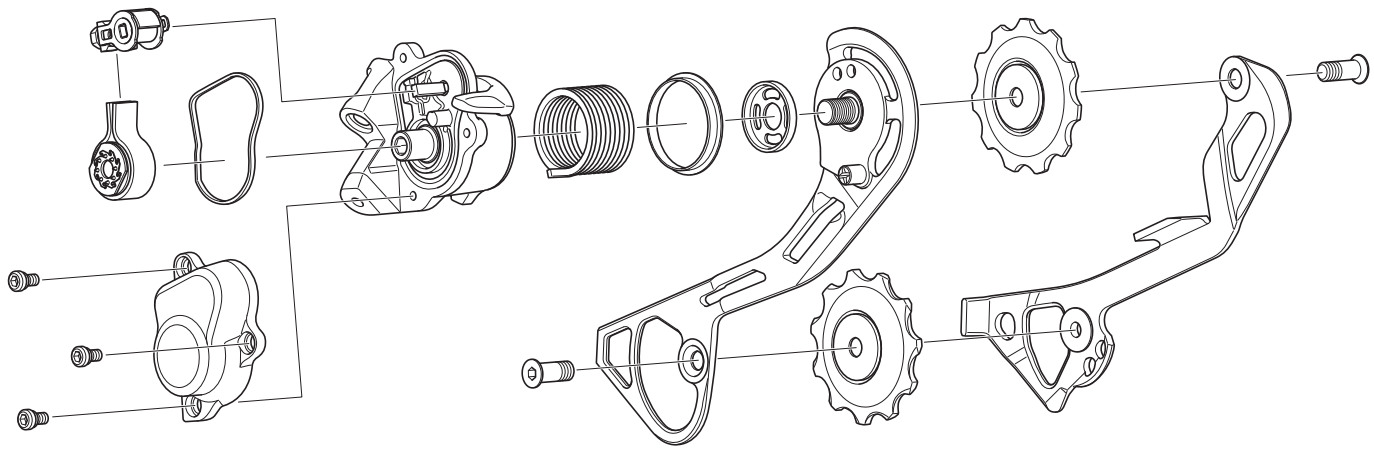
メンテナンス

■ プレートとPテンションスプリングの交換

取外し

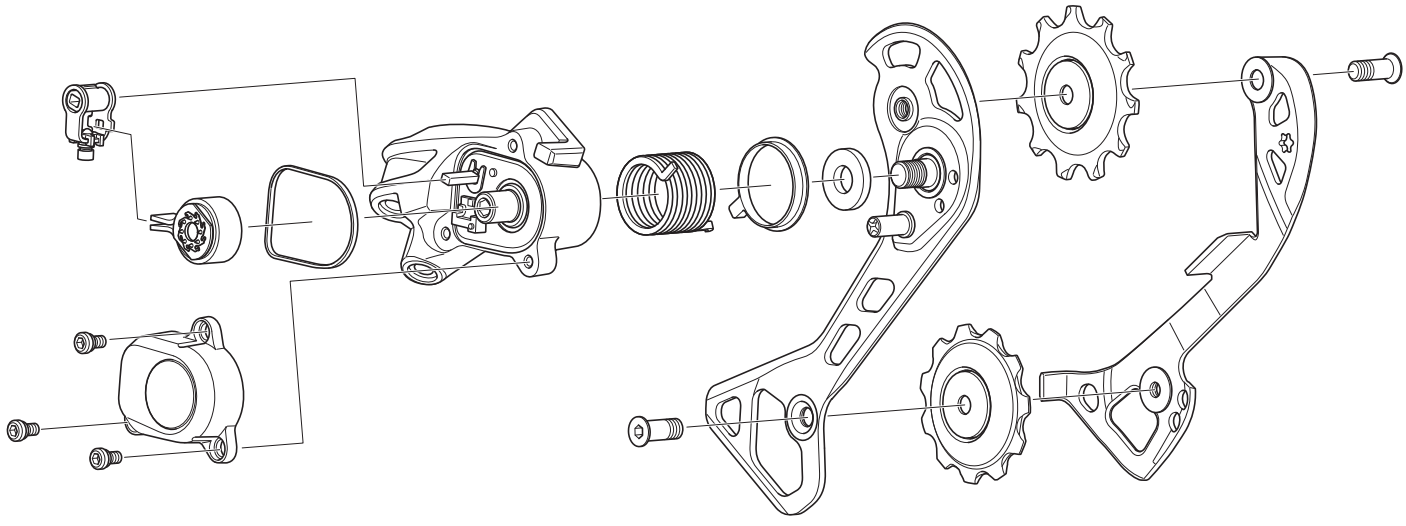
RD-M7000-10-SGS/RD-M6000-SGS

分解図



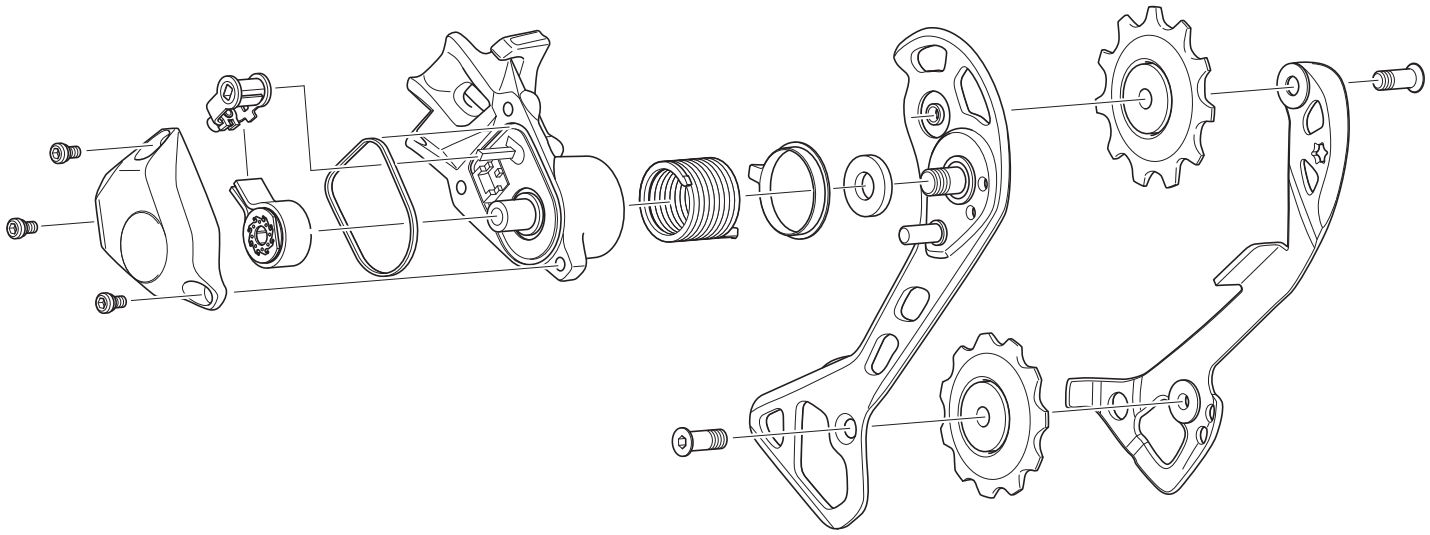
RD-M7000-11-GS

分解図



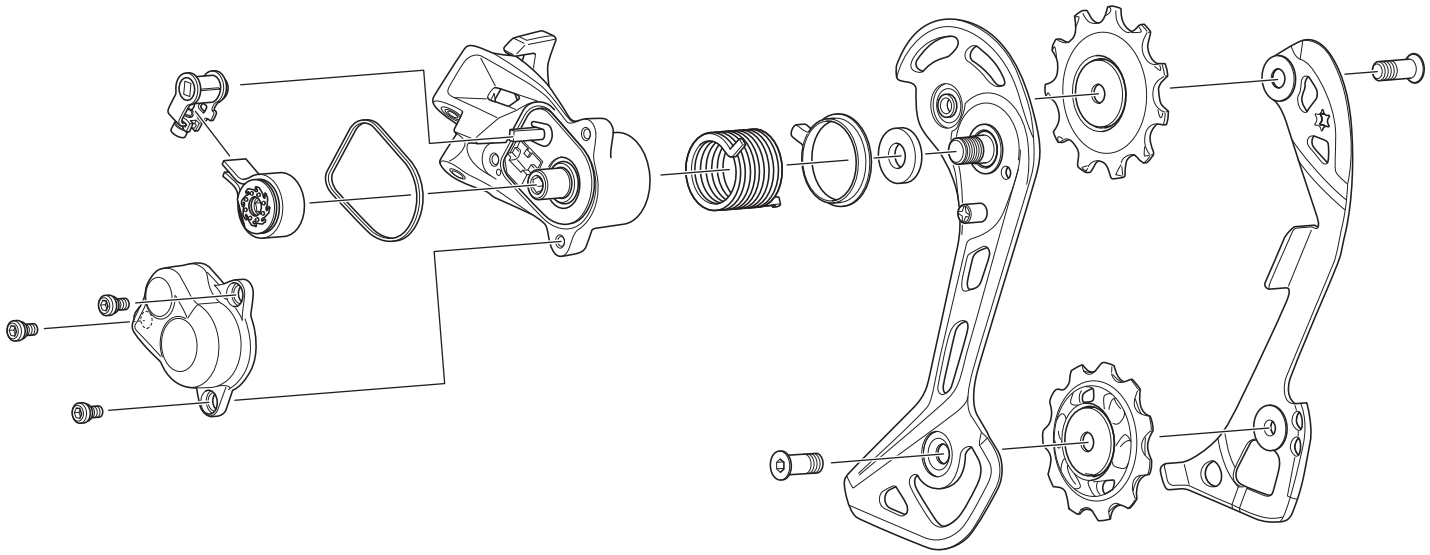
RD-M6000-GS

分解図

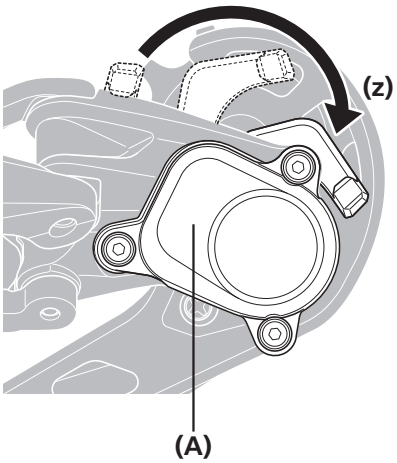


RD-M5120-SGS

分解図



1



レバースイッチがOFFの位置にあるか確認します。 ONの場合は、必ずレバースイッチOFFにして下さい。

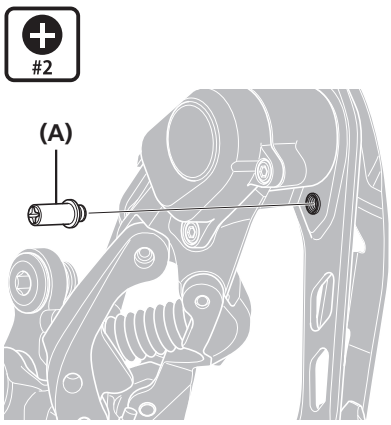
(z) OFFの位置

(A) カムユニット

使用上の注意

プレートユニットカバーを取外した状態でレバースイッチを操作する場合、カムユニットが飛び出さないように、カムユニットを指で押さえてください。

2



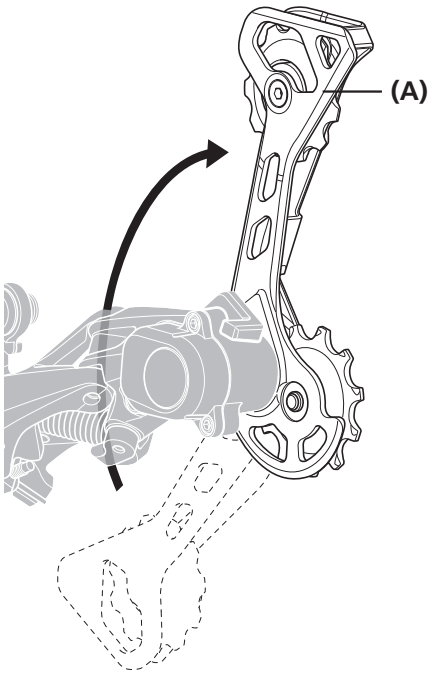
プラスドライバーでプレートストッパーピンを取外します。

(A) プレートストッパーピン

使用上の注意

プレートにはバネ力がかかっていますので、プレートとリアディレイラー本体をしっかり持って作業して下さい。

3

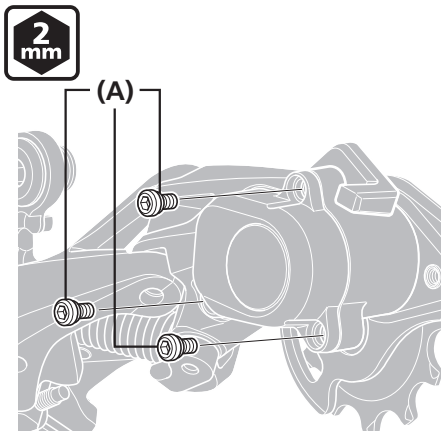


図のようにプレートを回し、Pテンションスプリングを緩めます。

(A) プレート

次ページへ続く

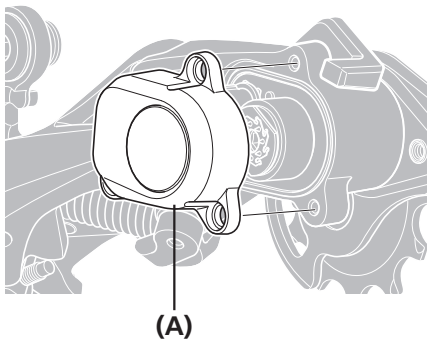
4



プレートユニットカバーボルトを取外します。

(A) プレートユニットカバーボルト

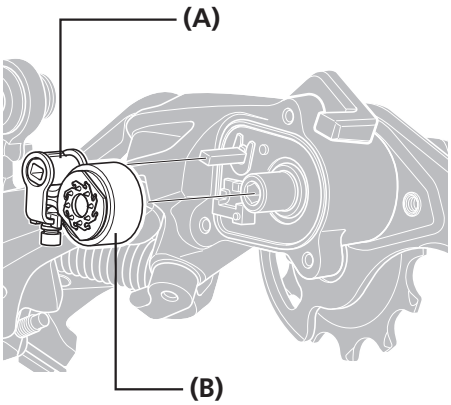
5



プレートユニットカバーを取外します。

(A) プレートユニットカバー

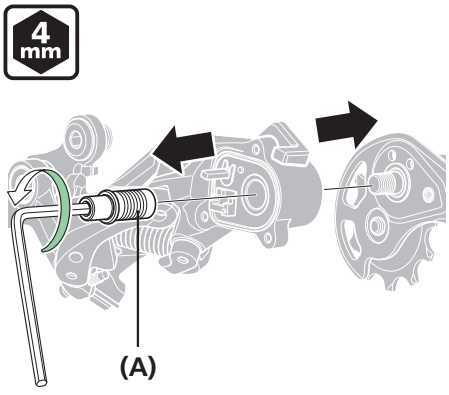
6



カムユニットとチェーンスタビライザーを取外します。

(A) カムユニット
(B) チェーンスタビライザー

7



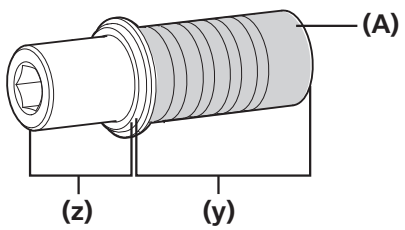
プレート軸を取外します。

(A) プレート軸

組付け

取外しの逆の手順で行ってください。

1



プレート軸にグリスを塗布してください。

(y) グリスの塗布範囲
グリスナンバー：
プレミアムグリス
(Y04110000)

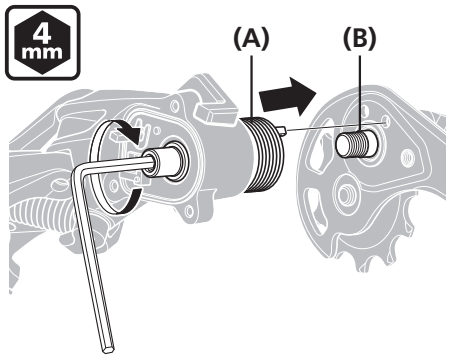
(z) グリスを塗布しない

(A) プレート軸

使用上の注意

(z)には、グリスを塗布しないでください。
塗布すると、ローラークラッチの内部にグリスが付き、滑ってフリクション機能が働きません。

2

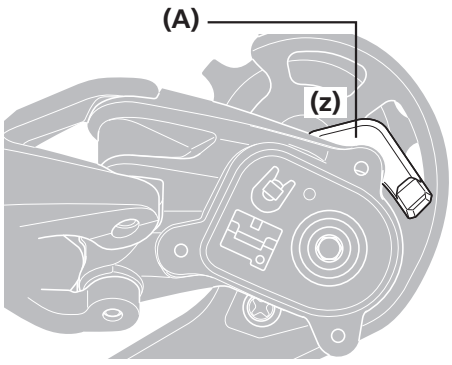


プレート軸を差し込んで、Pテンションスプリングの先端をプレートの穴にはめ込みます。

(A) Pテンションスプリング
(B) プレート

締付けトルク	
4 mm	8 - 10 N·m

3



レバースイッチがOFFの位置にあるか確認します。

ONの場合は、必ずレバースイッチOFFにしてください。

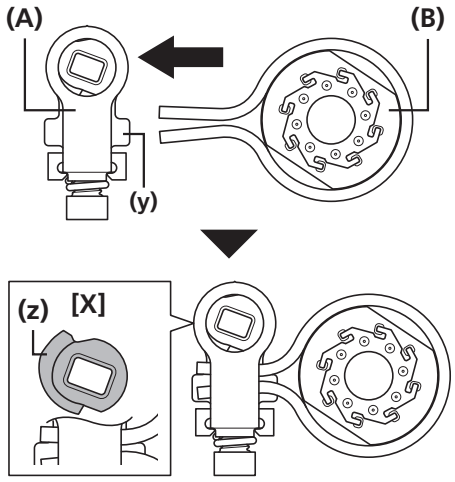
(z) OFFの位置

(A) レバースイッチ

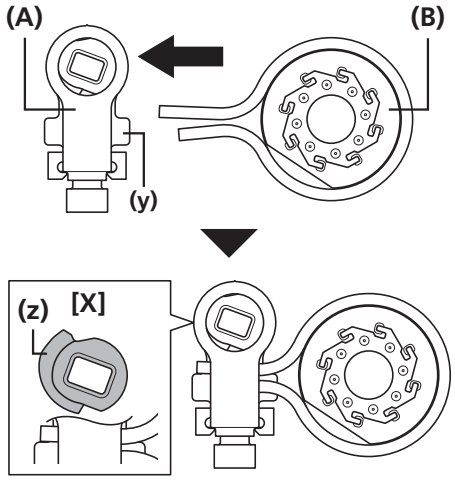
次ページへ続く

4

RD-M7000/RD-M6000



RD-M5120



図のように、カムユニットにチェーンスタビライザーをセットします。

この時、カムユニットのカムの突起が [X] の位置にある事を確認してください。

(y) カムユニットのサイドに突起がある側が、ディレイラー本体側です。

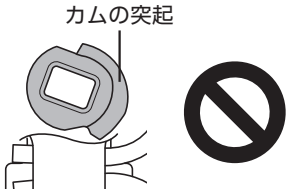
(z) カムの突起

(A) カムユニット

(B) チェーンスタビライザー

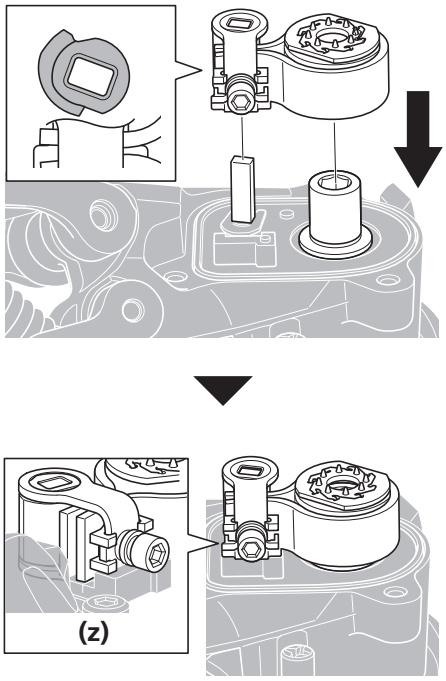
使用上の注意

図のような位置でカムユニットにセットしないでください。



次ページへ続く

5



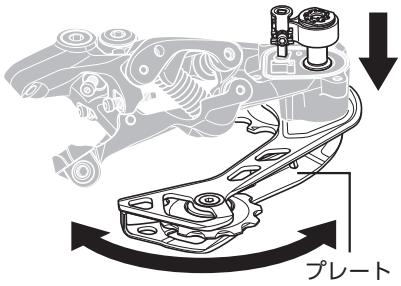
図のように、カムユニットとチェーンスタビライザーの穴をプレートユニットの突起部に合わせて取付けます。

取付け時、カムユニットのカムの突起の位置に注意してください。

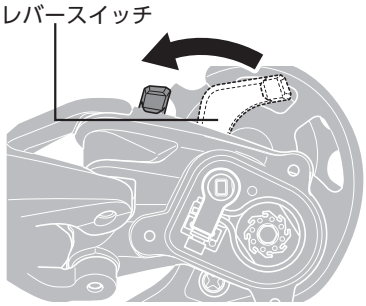
(z) 正しく取付けられた状態

TECH TIPS

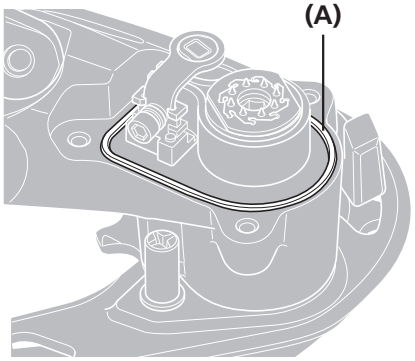
- プレートを動かしながら、カムユニットとチェーンスタビライザーを押さえると、取付けやすくなります。



- レバースイッチをONの位置にした時、レバースイッチに抵抗を感じれば、正しく取付けられています。
抵抗を感じない場合は、カムユニットのカムの突起の位置を確認し、再度取付け直してください。



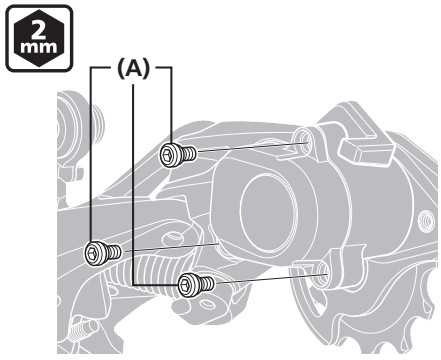
6



プレートユニットカバーパッキンがプレートユニットの溝に沿って取り付けられていることを確認してください。

(A) P体カバーパッキン

7



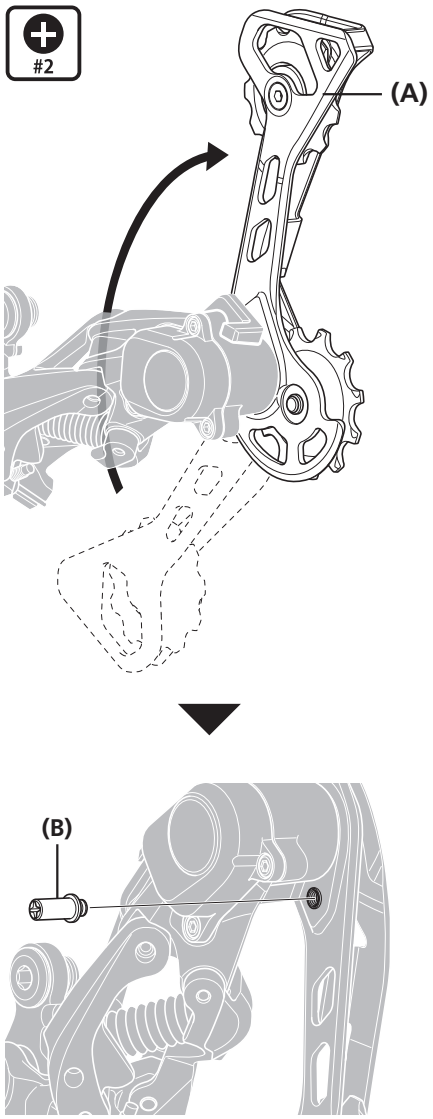
プレートユニットカバーボルトを取付けます。

(A) プレートユニットカバーボルト

締付けトルク	
2 mm	1 - 1.5 N·m

次ページへ続く

8



プレートをねじってプレートストッパーピンを取付けます。

(A) プレート
(B) プレートストッパーピン

締付けトルク	
#2	1 N·m

使用上の注意

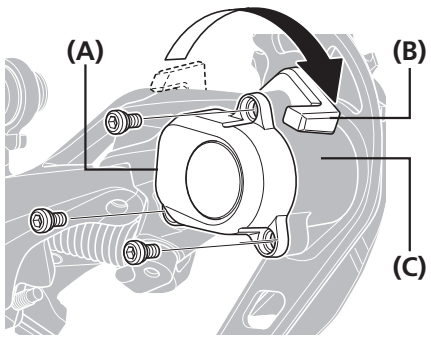
プレートにバネ力がかかりますので、プレートとリアディレイラー本体をしっかり持って作業して下さい。

■ チェーンスタビライザーのグリスアップ

フリクションが変化したり、音鳴りが発生したりした場合、グリスの変色あるいはグリス切れが考えられますので、グリスアップを行ってください。
＊組立ては逆の手順で行ってください。

1 レバースイッチをOFFにします。

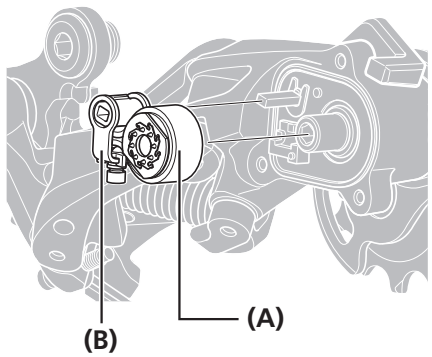
2



プレートユニットカバーを取外します。

(A) プレートユニットカバー
(B) レバースイッチ
(C) プレートユニット

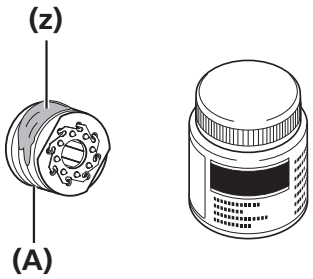
3



チェーンスタビライザーとカムユニットを共に取外します。

(A) チェーンスタビライザー
(B) カムユニット

4



クラッチ側にグリスを塗布します。

(z) シャドーRD+ グリスナンバー：Y04121000 (50 g)
NEXUS グリスナンバー：Y04120800 (100 g)

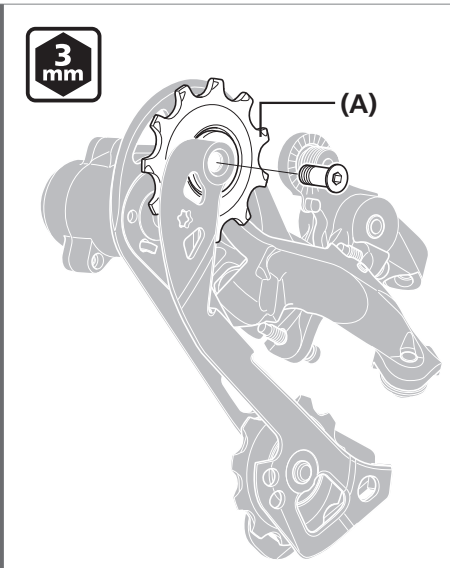
(A) ローラークラッチ

使用上の注意

ローラークラッチの内部にグリスが入らないようご注意ください。クラッチの固着や滑りなど動作不良の原因になります。

■ プーリーの交換

ガイドプーリー



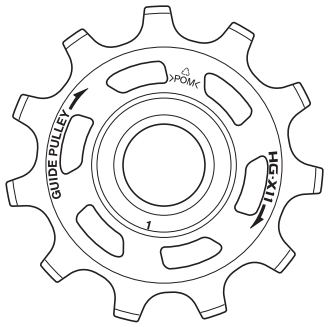
ガイドプーリーを交換します。

(A) ガイドプーリー

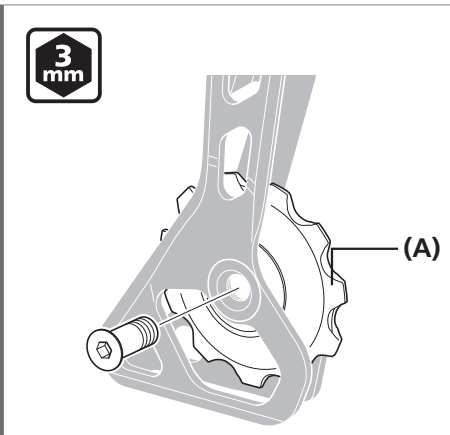
締付けトルク	
3 mm	2.5 - 5 N·m

使用上の注意

プーリーに矢印が記されている場合があります。方向を確認し取り付けてください。



テンションプーリー



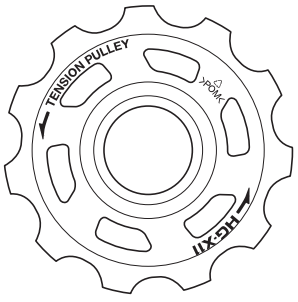
テンションプーリーを交換します。

(A) テンションプーリー

締付けトルク	
3 mm	2.5 - 5 N·m

使用上の注意

プーリーに矢印が記されている場合があります。方向を確認し取り付けてください。



製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口
☎ 0570-031961　Fax. 072-243-7847

株式会社シマノ
〒590-8577 堺市堺区老松町3丁77番地